

6. 解説「関連データ・用語・仕組み」: テロワール、スローライフ、ロハスとは

テロワール(Terroir)とは、「土地」を意味するフランス語 *terre* から派生した言葉で、もともとはワイン、コーヒー、茶などの品種における、生育地の地理、地勢、気候による特徴を指すフランス語である。(出典: フリー百科事典『ウィキペディア』 <https://bit.ly/39uDJ95>)

ワイン業界人による [note「そもそもテロワールとは何か？」](https://bit.ly/36oZJQM) <https://bit.ly/36oZJQM> によると、「テロワール」(terroir)というフランス単語に対応する英語や日本語の単語はなく、一番近いのは「生育環境」や「風土」とのこと。定義としては、「ぶどうの生育段階からワインの瓶詰までの間に、品質に影響を与える全要因の質的合計」で、その質的合計を各構成要素に分解すると、「テロワール」=「土地+気候+人(思想+技術)+設備」ということになるらしい。

最近はこのテロワールという概念が、「ワインやコーヒーなどの作物は、テロワール(土地の特徴)の影響を受け、その土地特有の性格を持つようになるわけだが、作物だけでなく、建物や町並み、そこに住む人々の暮らしなども同様にテロワールにより特徴づけられると考えられる」([note テロワールとまちづくり](https://note.com/oteen/n/nfdfc64cf17e5) <https://note.com/oteen/n/nfdfc64cf17e5>)といった文脈で、まちづくりあるいは地方創生において語られることが多くなってきている。

「テロワールとは、土地の個性が品質であり、それが美意識・価値観にまで昇華した形で消費者に浸透すると、他所では真似ができなくなり、ブランドとなる」というマーケティング的な援用(地方創生の近未来 ~伝統の現代化とスマートスプロール~) <https://bit.ly/37hSYPS> は、地方の魅力を引き出し、ひいてはブランド化に繋がる。それが地方創生の道であるとの示唆が得られる。

スローライフ(Slow Life)とは、地方の魅力の一つである「地方に根づくゆったりした生活を肯定し、人生をゆったりと楽しもうという考え方」([コトバンク](https://bit.ly/39ps2Aq) <https://bit.ly/39ps2Aq>)の抽象的な和製英語である。[ブログ【スローライフとは何か?】](https://amba.to/3o9Qg5D) <https://amba.to/3o9Qg5D> によると、「スローライフとは、暮らしに緩急をつけること」であり、「wikiの『ゆっくりした暮らしを提案する』に対する答が『緩急』であり、「丁寧な暮らし」とは微妙に異なるとされている。さらに、「スローの勧め」 <https://bit.ly/36qc7zT> では、「自分の時間を作る事。それを楽しむ事。その為の時間を作る事。全部をゆっくりやれと言うわけではなく、ゆっくり楽しむ時間を作る事が大切」とされている。

平成19年9月22日に定められた「スローライフまちづくり全国都市会議・スローライフ憲章」 <https://bit.ly/37lfVS9> の前文には「スピードや効率性は大切にしつつも、都市環境や市民生活のありようについて本質を見極め、先人より培われ今に息づく『ほんもの』を大切にする価値観により、一人ひとりがより人間らしく自然に、ゆっくり、ゆったり、豊かな心で生きていけるような社会『スローライフのまちづくり』が必要である」と記されている。

LOHAS(ロハス)とは、Lifestyles of Health and Sustainability」の略語で、「心身の健康、持続可能な社会や地球環境を無理なく追及する、心豊かに暮らす生活スタイル」の意味で、目先の利益よりも、10年後、100年後の地球を見据えた暮らし方を指す」とされる。いまでいうSDGsに通じる暮らし方とも云える。

また類似する概念に、「エコ」という言葉がある。「地球の生態系や環境を守るためのライフスタイル」を指すエコに加えて、ロハスには自身の健康も持続的に保つ「Health(健康)」という意味が含まれる。(LIDEAS FOR GOOD LOHAS(ロハス)とは・意味) <https://bit.ly/39wsD3s>